

筑後広域公園に「ワンヘルス・カーボンゲート」が完成しました !!

令和4年10月16日(日)、福岡県筑後広域公園エントランスエリアと体験エリアに、新たに公園のシンボルとなるモニュメントが完成し、記念式典が開催されました。



服部誠太郎・福岡県知事



藏内勇夫・日本獣医師会会長

服部誠太郎・福岡県知事は、「県営筑後広域公園を多くの皆様にご利用いただき、愛され、親しまれる公園になるよう努めてまいります。」と挨拶されました。

来賓の藏内勇夫・日本獣医師会会長は、「ワンヘルス・カーボンゲートは、この公園の入り口にあります。ここからワンヘルスがスタートします。そして、このゲートはみやま市にできるワンヘルスセンターに向いています。ワンヘルスセンターは、まだこれからで途中ではありますが、その先には未来があります。**未来に向けてのワンヘルス、これを求めていこうとするためのゲートであります。**」と述べられました。



完成したモニュメントは、東京芸術大学の伊東順二・特任教授の全体監修により、筑後地域の魅力を伝える「水、風、森、石」の4つのコンセプトで制作されました。

建築家で東京大学特別教授・名誉教授の隈研吾氏の設計協力による「ワンヘルス・カーボンゲート」「カーボンハット」、福岡県無形文化財の人形師の中村信喬氏による「石龍」の3作品です。

入口の近くに設置された「ワンヘルス・カーボンゲート」は、炭素繊維を使ったリングがらせん状につながりあっています。



水を守る石像として鎮座するのが「石龍」。

「カーボンハット」は、傘のように張られた炭素繊維のひもに、透明の柔らかい帽子のようなシートをかぶせたものとなっています。



設計者の隈研吾氏からは、「新しい世界の建築にとって、世界にその考え方を発信するシンボルとして、皆さんから愛され続けることを願います。」とのビデオメッセージが寄せられました。

2022年10月19日

福岡ワンヘルス協議会・事務局